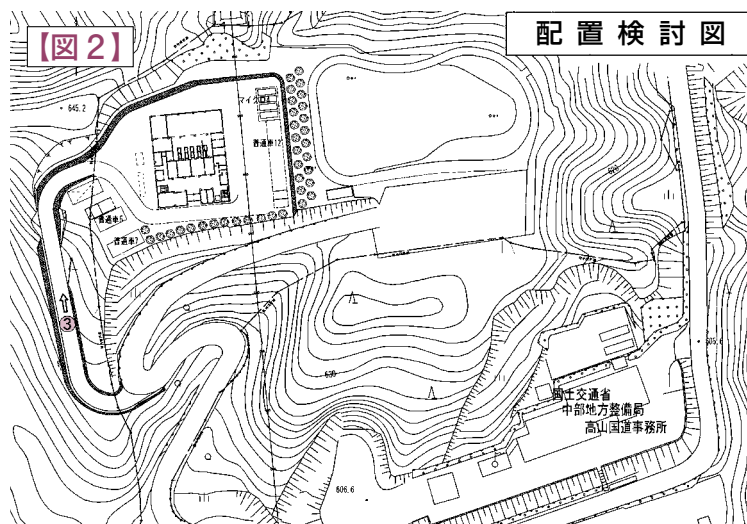


度を占めることとなりました。



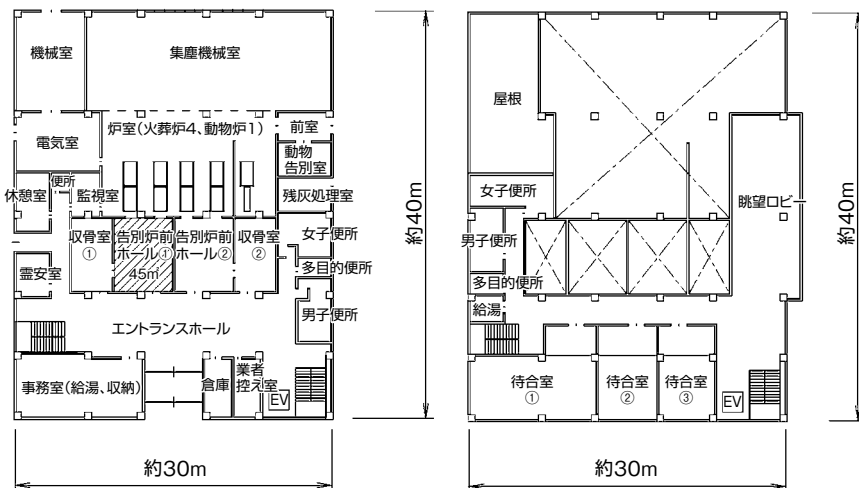
③施設イメージの検討

【図3】は、敷地面積を約5,000㎡と想定し、スカイパーク一部（西側部分）の敷地内に収まるよう検討した施設のイメージです。

まず【図3】左上の1階イメージでは、間取りの中央部分から上はほとんど炉室と集塵機械室で占められることとなります。通常の場合、集塵機械室は炉室の上階に設置しますが、そう

【図3】

施設イメージ図



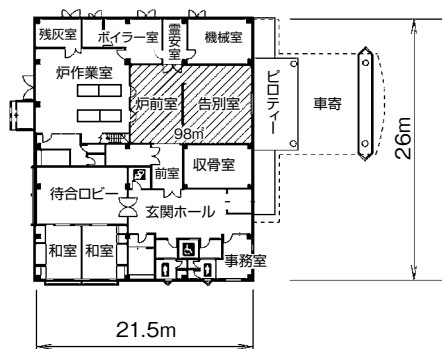
1階イメージ
床面積 約1,200㎡
告別炉前ホール 約45㎡

2階イメージ
床面積 約600㎡

分に必要となります。

このことを考慮して間取りを想定してみますと、火葬施設で最も重要なお別れの場である告別室と炉前ホールは兼用とせざるを得ず、居室の床面積としては狭くなります。参考までに【図3】下段に現在の久々野火葬場の告別室と炉前ホールの面積を斜線で図示していますが、同じ2炉分とし

【参考】
久々野火葬場1階平面図
床面積 約564㎡
炉前室+告別室 約98㎡



④再評価の実施

て、久々野火葬場に比べて約半分程度の面積となります。そのため火葬施設として一般的に必要とされる十分な広さの確保が困難な状況となっています。また、玄関先にマイクバスが転回できるロータリーを設置することが難しく、マイクバスは切り返して戻るようなことが必要な状況となりました。

以上が具体的な施設のイメージを想定して検討した結果です。

次に、インフラ整備の方法などによって比較評価の結果が変わってくるのではないかとご質問に対して検討を行いました。当初の評価では一律の概算単価で費用を算出していましたが、今回、各候補地において進入路や造成内容を具体的に想定したうえで、再評価を実施しました。

【表3】の再評価表の()は当初の評価点を表しています。比較項目の評